

忍者キャンプ 参幕 ～雲の谷の物語～

2015 spring

見上げた空の
雲は流れる
守りつづける
友との約束

※この物語はフィクションです



登場人物紹介

■ 風渡の里 (かぜわたりのさと)

(雲の国「雲渡(くらうど)」の忍者の隠れ里)

空野 雲海 (そらの うんかい)

風渡の里の忍頭であり「風渡忍者学校の校長」。里の忍たちからは、「頭(かしら)」と呼ばれている。里を守るために忍者学校を作り、急いで忍者育成を進めるがなかなか上手くいかない。ホントはかなり優秀な忍者のようだが、最近は疲れ気味でネガティブ発言が多くなり気味。趣味は、「旅行」。結婚をしている様子はないが、真相はなかなか聞きづらい雰囲気。

赤錆先生 (あかさびせんせい)

新しく忍者学校を作るにあたり、採用された新米先生。

「赤錆色(あかさびいろ)」の頭巾がトレードマークのため、「赤錆先生」と呼ばれている。本名を知る人はいない。忍者としては優秀だが、のんびりとした性格で、今は「生徒との距離の取り方」に悩んでいる。得意分野は「諜報、策略」。趣味は、「空をながめてポケーっとすること」。

【参幕の中で↓】

本名は「備中 日向(びっちゅう ひなた)」と言う名前、10年前まで百乃次一派の元で育っていた事が判明。忍者キャンプ一幕のB日程(シンシンの巻)で、風のサッサを助けるために旅だった「陣風のコウ」が帰ってくるのを待っていたが、百乃次一派はチリジリになり自然解体。その後、風渡の里に渡って暮らしていた。

八雲 ひかり (やくも ひかり)

風渡の里の幻術が得意な一族の一人娘。

9才の頃に、「間久間(まくま)」の手の者によってさらわれた。現在は20才。趣味は「茶道」らしい。

【式幕の中で↓】

日向の里にて、日向忍者学校の生徒たちの手によって救出。救出時はかなりお腹をすかせていた模様。

■ 日向の里（ひゅうがのさと）

（陽の国「三来図（さんらいず）」の忍者の隠れ里。「風渡」とは友好関係にある）

陣風のコウ（じんぷうのこう）

日向の里の忍。「記憶喪失の術」が中途半端にかかっており、記憶はあるものの漢字が読めなくなったり、忍術がショボくなっている。日向の里の村人たちからは「山賊」と間違えられている模様。

【参幕の中で↓】

10年前日向の里にて、記憶喪失の術が中途半端にかかってしまい、会いに来たはずの赤錆先生（備中日向）の事も完全には思いだせず、風渡の里で記憶を思い出すべく調査をしていた。参幕の中では、赤錆先生の「叫び」によって記憶が戻った模様。

■ 他の忍者衆

間久間衆（まくましゅう）

間久間の国の忍。約10年前に「八雲ひかり」を誘拐しムリヤリ「記憶喪失の術」を使わせていた忍者たち。ひかりの話によると、「あまりご飯を食べさせてくれない」連中らしい。

大昔の第一次忍大戦の時、風渡や日向を裏切り、敵対する根来についた経緯はあるが、もはや教科書で習うレベルでの昔の話。なぜ、間久間が今回、このような事をしたのかは不明。

抜け忍・幻五郎（ぬけにん・げんごろう）

元「三来図の国」の家老。国の家老になる前は、「日向忍者学校」の指導教官をしていた。（指導教科は、幻術・妖術など）

約10年前の家老（国の偉い人）の時、国民からたくさん「年貢」を取りたて自分のものにしてた。それに気づいた当時の日向忍術学校の先生や生徒たちが「勇の書」を使って幻五郎の悪だくみをあばこうとしたため、幻五郎は日向の里ごと潰そうとするが生徒たちの活躍により失敗に終わる。その後、幻五郎の悪だくみが国の姫様にバレたため、捕まる前に国から逃亡。現在、その行方を知る者はいない。

根来衆（ねごろしゅう）

かつて第一次忍大戦のおり、風渡や日向と対決した忍者たち。

現在は平和条約が結ばれているため対立はしていないが、風渡や日向の里の中ではいまだ敵対視する声が多く、根深い。土遁の術を得意とする。

